

10月20日

稲村ヶ岳・大日山

中田繁男

山名	稲村ヶ岳・大日山		山行名	10月例会	
ルート	母公堂登山口→法力峠→稲村ヶ岳小屋→稲村ヶ岳山頂→大日キレット→大日山頂→小屋→法力峠→母公堂登山口				
山行日	2019年10月20日(日)		天候	曇りのち雨	
参加者	リーダー：中田 男性：田中、山下		サブリーダー：西川(洋) 女性：伊藤(典)、染矢、大林、玉置		計：8名
ルート概略図 小屋→稲村ヶ岳山頂→大日山・キレット  ↑ 山上迂  ↑ 法力峠  ↑ 母公堂登山口  ↑ 京田辺市  ↓ 法力峠  ↓ 母公堂登山口  ↙	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
京田辺市	集	7:00	稲村ヶ岳山頂	着	13:15
	発	7:20		発	13:20
母公堂登山口	着	9:40	大日山	着	13:37
	発	9:55		発	
法力峠	着	11:05	稲村ヶ岳小屋	着	14:15
	発			発	
稲村ヶ岳小屋	着	12:30	法力峠	着	15:35
	発	12:50		発	
大日キレット	着	13:06	母公堂登山口	着	16:30
	発			発	

## 山行報告

前日の雨が上がり秋晴れの予想の中、西川車で途中迷いながら現地に到着した。駐車場が満車で少し東方の路肩で駐車出来ました。手前のごろごろ水に寄せず残念！軽い準備体操して登山開始です。法力峠までは歩きやすいハイキング登山でゆっくり歩いたせいで予定時間オーバーです。途中で出会ったハイカーから今から山頂まで2時間ですよ！と警告されました。素人集団と思われたのかな？12時30分に昼食場所の山小屋に到着です。小屋の前の熱いお茶のサービスに感謝、感謝！時間余裕が少ないので短時間で昼食を済ませ、最長老の山下さんに待機して頂き、ザックを置いて大日キレットから稲村ヶ岳山頂をめざした。

大日キレットは早くも紅葉が見られ右手には大日山登山口があり、4～5名のザックが置いてあり先客ありです。私たちは先に稲村ヶ岳を目指して進みます。山頂近くは岩場の急坂でクサリが用意してあり滑らないように登ると、倒木を伐採している方がおられ歩きやすくなっています。山頂には展望台が設置してあり360°の眺望です。南側はガスがかかっていますが、北側は晴れて大天井ヶ岳等の山々がハッキリ見え疲れが吹っ飛ばすようです。近くの若いハイカーカップルはバテバテでした。

大日キレットに戻った時は先客はいないので、脚に自信がないOさんを残し垂直の尖った大日山にチャレンジです。Yケン経験のないTさんが心配ですが皆さんに慎重な三点確保を徹底して登り始めた。キレットの途中にハシゴ、鎖場が連続して下を見ると垂直に崖が見えます。約10分位で大日山頂に登りつめた。急登の連続で皆さんが紅潮して無事に到着してきた。山頂には大日如来の祠がありお参りです。その後急な登山道を慎重にキヤーキヤー言いながら無事にOさんの待つ登山口に帰って来た。天候はやや曇りがちで薄く暗くなり山小屋の所までいそいで行くと、山下さんが心配そうに待っている所に合流した。下山道は比較的歩きやすくなだらかなコースで急いで母公堂登山口に到着出来ました。大日山のスリルある急登は楽しんで頂けたと思います。又、懲りずに参加して下さい。 ヒヤリハット なし

## 稲村ヶ岳：感想文

田中正和

標高 1726m とあって、そこから見る景色も格別でした。滑り易く不安定な登山道が続きましたが、そこがまた楽しかったです。



伊藤典子

一か月ぶりの山行参加であり、久しぶりに鎖や梯子ありの岩登り、本格的な登山を体験できました。その代償として只今全身筋肉痛で酷い目にあっています。鎖場の下りでは苔生した石に足を滑らせ膝を打ち、木の根に足を乗せて滑って尻もちを付きあわや崖に落ちそうになり、極め付きは木の根に足を引っかけて最初に打った膝にさらに追い打ちをかける羽目に。(他にも小規模な滑り有) ということで、全員の滑りを一手に引き受けたようでした。ほんとに無事に下山でき

て良かったです。変化に富んだ面白い山を紹介してくださった CL 様に感謝です。ご同行の皆様とも和気あいあいと、とても楽しい山行でした。

山下 隆

冬の観音峰に霧氷見物に行った時は暖冬で、山はまったく無氷だった記憶がある。観音峰に登る途中で、大日山や稲村ヶ岳が少し雪をかぶっていたような記憶がある。稲村ヶ岳は過去に登った山の記録をめくってみたが見当たらない。京田辺から遠く、足の便も容易ではなく行きにくい山なので



登っていないようだ。健脚向きゆえ若干不安あるも今年初めての秋を味わえるのではないかと期待を抱いて参加した。



杉や檜の針葉樹林帯がずっと続いていたが、道が厳しくなるにつれ、落葉樹林帯に入り、周囲は緑から黄色へのグラデーション帯に入り、足元に気をつけながら名前を忘れかけていた「リョーブ」やのブ

ナの林を楽しむ。お腹もすき、疲れも出てきた 12 時頃に芦生の森に似た所に出会い、昼食時間を要望するも、CL にはもう少し・もう少しと引き延ばされて 12:30 に稲村岳小屋 (1550m) にようやく到着。すばやい昼食をとり、稲村ヶ岳・大日山のピークハントに向う計画となった。ここはほとんど風も無く、見渡す周辺は大好きなブナ林で、もっとゆったりしたくなり、皆さんの荷物番役を引き受けた。勿論体力温存も大きな目的だった。しっかり着込んで、皆さんが帰ってくるまでの 1:30 分間はしばらく味わったことが無かったゆったりした贅沢な時間だった。流れる飛行機雲を眺めたり、写真を撮ったり、黄葉のブナ林をボーと眺めたり、コーヒーを頂いたり・・・。



来月は小野村割岳での中秋を！その次は湖東三山での晩秋を楽しみ！と元気で秋を味わいたい。往復の長距離運転をしてくれた西川さん、企画してくれた中田さんお世話になりありがとうございます。勿論、にぎやかな仲間にも感謝！今回の計画が無かったら、稲村ヶ岳登山は行ったことのない山の一つになるところでした。歩数は 2.3 万歩。

### 染矢つや子

20年前初めて登ったのは新緑の綺麗な季節でした。楽でルンルン「また来たいな」と思わせる山でした。しかし、なかなか来れず71歳になった今、再度登れる機会を得楽しみにしていました。特に岩・鎖・梯子があるとの事で「頑張らねば」と気合が入りました。前は「大日山」には登っていませんでしたので直の事。岩や木の根っこが濡れて気が抜けませんでしたが、久々に達成感を味わった山行でした。木々も色づき始め今年最初の秋の山にリフレッシュ出来ました。



### 西川 洋

面白いことがありました。高速道路を降りて、まっすぐ進んでいると右折する地点を通り過ぎたのか、車ナビ、Uターンせよ、Uターンせよと何度も叫びうるさいほどでした。後ろの座席の人間ナビは携帯ナビを見てまっすぐ行ってこの先を右へ曲がりましょうと言っておりましたが、助手席のCLさんは、少しおろおろしておりました。こんな場合私はどうすれば良いのでしょうか？

### 大林京子

楽しい山行ありがとうございました。少し早い紅葉もあり今年はまだ自分の中では9月の暑さで紅葉はまだ少し早いのではと思っていたのに綺麗な紅葉を見ることができ最高の山でした。運転して下さいましたnさんお疲れ様でした。🍁



### 玉置安世

なぜかわからないけれど稲村ヶ岳に行ってみたかったんです。だから何も考えずに出席と即答しました。行くと決めてから歩く距離が長いのと標高の高さに大丈夫かなあ？と心配でした・頑張って歩けたのもみなさんのおかげです。

ありがとうございます。期待通りの素敵な山でした。標高が高くなるにつれだんだん葉っぱが色づいてきているのがわかります。秋晴れに紅葉がはえます。今年の初紅葉です。大日岳のキレットは足がすくみましたが、岩岩やはしごのスリルは楽しかったです。稲村ヶ岳のバッチもゲットしました。買う人はいるのでしょうか？こんな素敵な山なのにアクセスが悪すぎます。もっとたくさんの人に気軽に登れるようにしてほしいです。

またお気に入りの山がひとつ増えました。同行のみなさま本当にありがとうございました。楽しかったです。



photo.jp - 24055960

